



いわおか小だより

(4年生) 神戸市学力・学習状況調査結果から R4.9.19

今年4月に、神戸市の小学校4年生・5年生を対象に「神戸市学力・学習状況調査」を実施し、その結果が神戸市教育委員会から提供されました。結果を生かしながら今後の改善を図っていくために、本校の状況と主な課題、改善策等を合わせてご報告いたします。なお、4年生児童一人一人の結果につきましては、すでにお子様を通じて保護者の方へお渡ししています。

今回の調査は「教科調査(国語・算数)」と「児童質問紙調査」からなっています。数多くの調査項目の中から、各調査について特徴的な項目を取り上げてお知らせします。

《教科調査の結果から》

国語

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を読んだり書いたりする問題は、概ね良好でした。
- 話し合いの内容を聞き取る問題は、概ね良好でした。
- 主語と述語との関係についての問題に課題がありました。
- ローマ字で表記されたものを正しく読む問題に課題がありました。
- 説明文や物語の叙述を基に文章の内容を捉える問題に課題がありました。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる問題に課題がありました。

算数

- 基本的なかけ算やわり算の計算問題は、概ね良好でした。
- 円の直径について理解する問題は、概ね良好でした。
- かけ算の筆算に出てくる数の意味を理解する問題は、概ね良好でした。
- 分数の数直線上での表し方について求める問題に課題がありました。
- 工夫した計算のしかたを説明する問題に課題がありました。
- を使った文章問題を表した図の構造をとらえる問題に課題がありました。
- 時刻と時間を求める問題に課題がありました。
- 道のりを求めたり、どちらの道のりの合計が短いかを説明したりする問題に課題がありました。

《児童質問紙調査の結果から》

【生活習慣】

- 「朝早起きができている」という児童が多い。
- 「家で手伝いをしている」という児童が多い
- 「学校の授業の復習をしている」という児童が少ない。
- 「テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか」という児童が少ない。

【児童意識】

- 「社会の勉強は大切」と答える児童多い。
- 「英語の勉強が好きだ」と答える児童は多い。
- 「国語・算数の勉強が好き」と考える児童が少ない。

《今後の改善案》

今回の調査結果から、国語では漢字を文章の中で正しく使える問題の理解が概ね良好な一方で、文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握したり、自分の考えをまとめたりすることに苦手意識をもつ児童が多いことが分かりました。また、国語の勉強が好きと考える児童が少ないことから、読書活動も含め、基礎学力定着や自分の考えをまとめたり、要旨を要約したりする活動を行っていきます。

算数では、基本的な計算をする問題は概ね良好な一方で、時刻や時間、道のりを求める問題に苦手意識をもつ児童が多いことが分かりました。また、算数の勉強が好きと考える児童が少ないことから、基礎学力定着や算数教室の活動を行っていきます。

学校としては、ICT 機器を学習に取り入れることに前向きな児童が多いことも踏まえ、次のようなことに力を入れ、学力向上に努めてまいります。

☆指導用デジタル教科書を活用することで、文章構成・物語の理解を深めるツールを活用する。

☆課題解決に、話し合い活動を取り入れ、多様な考えを知る機会を増やしていく。

☆勉強が好きだと感じられるように、授業の中で、楽しさを感じられるように、教材研究を深めていく。生活面でも、規則正しい生活習慣や自信をもって活動する体験を多く取り入れ、指導を続けてまいります。ご家庭でも、「早寝・早起き・朝ごはん」を基本とした生活リズムや家庭学習のルールづくり、家庭学習の充実（特に授業で学んだことやテストで確認したことの復習の取り組み）などについて、ご協力をよろしくお願いいたします。